

長寿命住宅普及協会（東京都台東区）は8月8日、東京都中野区の中野サンプルザで設立記念式典を開いた。同協会は「工務店の工務店による工務店のための団体」を標榜し、7月19日に設立したばかりだ。

同協会の会長を務める高砂建設（埼玉県蕨市）社長

同協会は、今年を含め3年連続で国土交通省の「住宅ストック維持向上促進事業」の補助事業に採択され

ている。当該事業の継続、工務店支援事業のほか、「既存住宅の認定・価値表示

まい手である家族を元気に」という思いは変わらない」と話した。

「価値保証制度」が始動

テナント、住まいの履歴が整備された新築戸建て住宅を「ベストバリュー・ホーム」として認定する。また、8月に開始した「価値表示保証事業(制度)」では、新築戸建て住宅の将来の予想価値を算定する「住宅価値算定プログラム」で資産価値を見える化する。的には、一定の条件した「ベストバリュ

保証事業として「長安宅(ベストバリューホーム認定事業)」「住宅価格保証事業」が、同協会の特徴となってい る。

「生活の中で見せていい」と述べた。

いみんなの意識が高まるから、そういう意味で「心できる」と感想を述べる。今年3月から入居の新は「実際に住み始めて周りの人に助けてもらっている。(他の家の)お姉ちゃんの成長について、これから起業する

見学会では入居者自ら入居している佐藤活体験を説明した。宗子供を見ている。一人仕組みの一つだ。

西棟合計で11戸、2LDKで、広さは61m²となる。東棟と西棟の庭があり、玄関は道路に面していない。入居者は必

「価値保証」
資産価値が適正に評価される市場をつくり、住宅ストック市場における好循環の形成に寄与したい考えだ。風間氏らのあいさつの後、住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会の齊藤広子会長が講演し、「いえかると」や「まちか一ホーるて」についても推奨した

「制度」が始動

寿命住宅の価値表示

ム」について5年ごとに将来的の表示価格を更新していく。更には、確実に維持・管理を行うことを条件に、「住宅価値表示価格」と実際の住宅の売却価格に差異があった場合、土地代を除く差額を瑕疵担保保険と同様の仕組みを使い、同協会が補てんする。

こうした制度の運用により、良質な住宅の

谷岡（細田正典社長）：では安
保さん、本当に喜んでいた。そ
れから、本音で、本当に喜んでいた。
これは木造老朽アパートを
新のI-O-T機器を備えたた
くに改修することで、借り手
若年層などに広げ、収益を
高めるための最適な活用
を提案するもの。

同社はアパートの経年
に対応し、住まいの現況
と周辺の賃貸市場調査を
で実施。木造賃貸アパー
トメントやサービスアパートを
改修する「フルリリフォー
ト、オーナーのリスクを

東急ホームズ（東京都）は、成時かさん（左）は、誰かが、ではな
H急 東老朽アパートリフター

二ツ三つの分野と言われる。多いが非常に入居も好み多様な高齢者がいる中で、立して自分で生活していく人

門で提案とを発表した

ミサワ

ムサービスを
動産ホールデ
ツ・コミュニ
連携し、改修さ
トに I-O-T 機器
I-O-T 関連で

和ローン」(セ
ポレーシヨン)、
括借上・賃貸等
ルエンタープリ
といったサー
同社は、よみ
て暮らせる賃貸
供するため、

の収益力

総戸数が26戸
は1LDK・2
面積は46～62m²
競争力のある